



長

崎県の西端、西彼杵半島にある西海市。このまちの大きな魅力は、エリアによって異なる表情を見せてくれることだ。大村湾に面し、楽しい観光スポットが点在する西彼町、風光明媚な風景が広がり、海産物の宝庫でもある大瀬戸町、造船の島・大島町、捕鯨や炭鉱の歴史が残る崎戸町…。中でも、起伏に富んだ地形で山海の幸に恵まれた西海市には、世界に誇る歴史が眠っている。

西海市にある横瀬浦を訪ねた。小さな港は時が止まっているかのように静かだ。けれども今から約四五十年前、この港にはポルトガル船が入港し、まちは人々であふれかえっていた。しかしその繁栄も一年余り。一夜にしてまちは滅びてしまう。一体このまちに何が起きたのか……。歴史に翻弄された横瀬浦を歩く。

こころにおいしいまち

西海市



横瀬浦公園内の体験学習棟で展示されている横瀬浦天主堂の鐘のレプリカ。約450年前、聖なる音を響かせた鐘は下から見上げると、十字架の形が印象的。